

令和6年度 第1回山梨病院地域連携協議会 議事録

日 時 令和6年9月18日(水) 19:00~20:00

場 所 山梨病院 2階会議室

委 員

敬称略

甲府市保健所長	小島 令嗣
甲府市福祉保健部健康支援室 地域保健課長	浅川 瑞江
甲府市医師会 総務理事 (ひろクリニック院長)	高橋 章弘
山梨大学医学部附属病院 病院長	木内 博之
山梨県訪問看護支援センター長	並木 奈緒美
山梨県官公立病院等協議会 幹事 (国立病院機構甲府病院院長)	荻野 哲男
山梨県老人保健施設協議会 代表 (恵信塩山ケアセンター事務長)	中村 博雄
朝日地区自治会連合会 会長	服田 尚隆
JCHO山梨病院 院長	佐藤 公
JCHO山梨病院 副院長	石原 司
JCHO山梨病院 副院長	井上 慎吾
JCHO山梨病院 看護部長	百瀬 千尋
JCHO山梨病院 副看護部長	青山 延布子
JCHO山梨病院 地域医率連携室長	有賀 真理
JCHO山梨病院 地域医療連携係長	中村 成一郎

司会 JCHO山梨病院 事務長 山田 清人

書記 JCHO山梨病院 総務企画課 阿藤 豊

議事録

1、山梨病院 山田事務長開式

令和6年度、第一回山梨病院地域連携協議会を開催致します。この協議会は、独立行政法人地域医療機能推進機構法第20条において、「施設の運営に当たり、協議会の開催等により、施設の利用者様、関係者様から広く意見を聴いて参考とし、地域の実情に応じた運営に努めなければならない」と定められております。本日はよろしく願いいたします。

2、山梨病院 佐藤院長挨拶

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

令和6年度第1回地域連携協議会を開催いたします。

当院は168床という規模ではありますが地域の皆様のお役に立てるよう県や市町村そして地域の方々と連携しながら機能的な病院運営をしていく必要があると思っております。2次救急の輪番に参加し、広域な医療活動もしています中北地域だけではなく北斗

市や笛吹市からも受け入れをしています。地域の高齢化に伴う後期高齢医療においても来院が困難な場合の訪問診療を始めています。また、当院の特色の1つであります予防医療ですが山梨県で健康診断を受ける人口の10人に1人は当院に来ていただいていると思っています。その中で消化器病センターと乳腺センターを併設して内視鏡治療を昨年度は約1,200件の中で胃がんと大腸がんを80件見つけて治療に結び付けることが出来ました。乳腺におきましては109件手術をしており、前年度より20%程の増でございます。

小さな病院ではございますが、地域の医療ニーズに精一杯応えられるようにと考えております。ぜひ忌憚のないご意見を頂けたらと思います。本日はどうぞよろしくお願い致します。

3、議題

○「病院紹介」 山梨病院 石原副院長

当院は168床で運営している中小規模の病院で、急性期病床126床と地域包括ケア病床42床です。二次救急指定病院で健康管理センターを併設しています。診療科は内科が一般・消化器・循環器・呼吸器・脳神経・血液・内分泌・代謝です。外科が一般・消化器・乳腺・肛門です。整形外科・リウマチ科・婦人科・皮膚科・耳鼻いんこう科・放射線科・麻酔科・病理診断科・リハビリテーション科を標榜しております。

令和5年度の外来患者は一日平均283.7人、入院患者は一日平均108.7人、健康管理センターは231.3人になります。

入院診療に関しては、令和5年度が病床利用率で見ますと、急性期が76.1%、地域包括ケアが73.9%となっております。また、在宅復帰率は急性期が96.1%、地域包括ケアが88.8%で、平均在院日数が、急性期で14.4日、16日以内とされておりますのでクリアしています。地域包括ケアでは在宅復帰につなげるようにしており日数は21.6日となっております。

令和5年度の紹介率ですが、紹介が3,970件で紹介率は60.9%でした。また、逆紹介は3,919件で53.4%でした。救急車の受入れは令和5年度736件で毎年同じくらいの受入れ件数となっており今後件数を増やせたらと思っております。放射線科の高度医療機器共同利用は1,801件でした。後方病院として高度病院からの入院は194件の受入れでした。地域包括ケア病棟の入院についてですが、急性期から在宅にすぐ戻れない患者さんを2週間程度入院してもらい在宅につなげていくよう考えています。当院の急性期からの転棟が72%で他院からの入院が28%となっており、このうち72.7%が高度急性期病院の医大病院や県立病院からの受入れでした。

当院のMSWと地域連携室がどんなかたちで患者支援にあたっているか、その動向についてお話しします。地域連携室が患者さんと関わるのは令和5年度11,409件で、このうち病棟が83%で外来が11%、入院の相談が6%となっております。退院支援をした患者

さんは 640 人でした。退院先で多い順に居住系施設 39%、自宅 36%、転院 25%でした。転院の内訳はリハビリが 14%、療養緩和が 6%、急性期その他で 5%となっています。

訪問診療については、診療報酬改定を受け令和 5 年 4 月 1 日より診療を開始しました令和 5 年度の件数はまだ 9 件と少ないですが看取りや家族とのかかわりなど訪問診療でなければ出来ないことにかかわることが出来たと思います。

地域連携活動としまして朝日地区の自治会からの依頼で 6 月 19 日に出前講座を行いました。そして 6 月 28 日には甲府市と合同で研修会を当院で開催することができました。病院独自ではすすめられないことなどもありますので、今後は行政と合同で開催し地域と連携できればと考えています。

当院の現状につきまして説明させていただきました。ご意見などございましたらお聞かせいただければと思います。

○意見交換

『山梨病院 佐藤委員』

いま当院の状況につきましてご説明させていただきました。このことについての質問等でも結構ですし、当院の活動についてでも結構ですので、ご意見を頂けましたらと思います。

『山梨県老人保健施設協議会 中村委員』

老人保健施設に勤務しておりますが、このように地域連携していただいていることを頼もしく思っています。老健は医師も看護師も常駐していませんので急性期に関して医療的な処置に乏しいところがあります。老健の利用者の受け入れ先としてよろしくお願いたします。

『山梨病院 佐藤委員』

当院の大切な仕事の一つと思っています。入退院については連携室と密に連携いただけたらと思いますので、引き続きお願いたします。

『山梨県官公立病院等協議会 荻野委員』

私の病院には急性期病棟がありますが、在宅復帰率が 96.1%と高く感じるのですがリハビリ病院等へ転院する患者さんがほとんど居ないという事でしょうか。

『山梨病院 中村委員』

当院では整形外科の手術後の患者さんがリハビリ病院へ転院することはありますが、全体数から見るとほとんどの患者さんが自宅ないし施設にお帰り頂いています。また、地域包括ケア病棟に転棟後に転出という患者様もいらっしゃいますので、それにより 96.1%となっております。資料 12 番の退院先に記載がありますが、退院先としてリハビリ病院、療養病院、急性期病院へ一定数が転院しております。

『山梨県官公立病院等協議会 荻野委員』

いまどの病院もそうなのかもしれないですが、看護師不足で募集をしてもなかなか集まらないで困っています。山梨病院ではどうでしょうか。

『山梨病院 佐藤委員』

当院も全くその通りでありまして、看護師の定数確保が難しく切実な問題であります。労働環境の改善が必要と思います。病院の近隣の保育園や幼稚園をまわったりして少しでも環境が整えられないか試みましたが、本質的なことにはつながらず、なかなか難しい状況です。

『甲府医師会 高橋委員』

平均患者数が少しずつ伸びているということですが、コロナの総括的なことの報告はありませんでしたが、感染症に関しての現状について発熱外来ですとかコロナ陽性受入れはどんな状況ですか。もう一つは高度医療機器の共同利用についてですが、ここ数年の件数が横ばいとなっていますが、まだ利用できる状況なのか、それとももう上限に達しているのか。それと開業医に対してこうして欲しいとか、これは止めて欲しいなど要望があれば理事会から会員開業医に伝えることが出来ますので、何かありましたら教えてください。訪問診療に関してすばらしい取組だと思いました。亡くなられている患者さんは病棟にという方針でしょうか。

『山梨病院 石原委員』

コロナに関しては感染対策をしっかりとしながら感染管理を進めています。コロナ患者の受入れは病棟に2~3床の用意がしてあります。外来も受入れをしています。

『山梨病院 佐藤委員』

高度医療機器の共同利用に関しては結構依頼があり充足している上記用です。放射線科医師のダブルチェックなどがありまして要望に対してなかなか連絡がつきにくいという状況にあります。混雑緩和のために専用の電話回線を設けたところですが、機器により混雑のタイミングがありますのでお問い合わせいただけたらと思います。

『山梨病院 井上委員』

訪問診療は私が担当した患者さんは本人が在宅を希望されたので最後まで訪問し看取りました。本人やご家族の意向に沿った訪問診療を行っています。

『山梨病院 佐藤委員』

ACTに沿った対応が求められていますので、当院の現状としては終末期について入院で看取るか在宅で看取るかは本人又はご家族の意向でケースバイケースになります。どちらでも受け入れられる体制です。

『甲府市保健所 小島委員』

まずは地域の医療を支えていただき感謝申し上げます。また、災害時にもご協力いただけたことになっておりまして併せて感謝いたします。私からは3つご質問させていただきます。まず地域包括ケア病棟に関してですが、情報共有などはどのタイミングからなんでしょうか。

『山梨病院 中村委員』

地域包括ケア病棟に入院される方の多くが、新規に介護保険を申請してという方が多いのですが、入院されましたら中北の地域包括センターにどのタイミングがベストかを相談します。その上ですぐ申請する方もいれば状態が落ち着いてから申請する方もいらっしゃいます。地域包括ケア病棟の入院 60 日上限がありますので地域包括センターと二人三脚で進めています。要介護が予測される場合は居宅介護事業者と連携しながら介護度が出る前にケアマネさんと調整しカンファレンスを積み重ねて在宅を目指すという症例も数多くあります。

『甲府市保健所 小島委員』

能登の災害では介護の問題が多く出ていたとのことですが、もしも甲府で地震など災害があった時に介護が必要になる方が出てくると思うのですが、そういうときの災害計画があれば教えていただきたい。

『山梨病院 佐藤委員』

病院としての災害想定はしておりますが、介護に関して連携することは必要だと思えますが、どこまで出来るかは分からないところです。

『甲府市保健所 小島委員』

質問というか教えていただきたいことなのですが、甲府市の問題なのですが、がん健診の受診率が 10%にとどかない状況でして、がん健診の受診率を上げる良い方法があれば教えてください。

『山梨病院 佐藤委員』

病院というか私はということですが、受診者さん患者さんにお話するのは、早く見つけて早く治すということで、見つけるだけの施設や治すだけの病院は幾つもあるのですが、早く見つけて早く治すことが出来るのでこの病院の特色としているところです。がんが見つかった方から聞くのは、まさか自分ががんになるとは思わなかったと言われます。今は小さながんでも見つけられて、見つかってから治療して退院までに約 40 日です。早く見つけて早く治せば、がん死は防げると伝えたいです。

『甲府市福祉保健部健康支援室 浅川委員』

甲府市には多くの部署がありますが、山梨病院にはいろいろなことでご協力いただきましてありがとうございます。甲府市ではがん健診の啓発を行なっていますが、受診率は低くなっています。また、新たに難病患者さんと若年層のがん患者さんの支援を計画しています。山梨病院の患者さんにそういう方がいらっしゃるか教えていただければと思います。

『山梨病院 佐藤委員』

私は消化器が専門なので消火器の患者さんについてということになりますが、40 歳未満の胃がん大腸がんの患者さんも比率は少ないですがいらっしゃいます。

『山梨病院 井上委員』

女性のがん患者さんには30代の患者さんも多くいます。病院ごとにとりより市町村と一緒にすることが大切になってくると思います。乳がん健診ですと40代からですが患者さんは30代からいらっしゃいます。

『甲府市福祉保健部健康支援室 浅川委員』

若い方はまだ大丈夫と頑張ってしまう、間に合わなかったというケースもありますので、ご紹介いただきながら支援させていただきたいと考えています。

『山梨県訪問看護支援センター 並木委員』

訪問診療を始めると前回聞いていまして、9名と少しずつ増えていることに素晴らしいと思いました。地域からの受入れの患者さんがいるようでしたら、また山梨病院の入院や外来からなのか分かれば教えていただけたらと思います。

『山梨病院 佐藤委員』

現時点では当院の入院患者さんになります。

『山梨県訪問看護支援センター 並木委員』

山梨県内の訪問看護ステーションは昨年12施設、今年に入って8施設が新規に立ち上がりました。一部報道ではあまりよくない事として取り上げられたこともありますが、質の管理をしつつ支援していけたらと思っています。ご意見などありましたら教えていただけたらと思います。また、地域連携室と情報共有が出来たらと思いますので今後ともよろしく願いいたします。

『山梨病院 佐藤委員』

看護を受ける側のニーズが多様化していますし、訪問看護ステーションも多様化しています。いろいろな形態があり見えにくい状況になっていると思います。求めるものや求められているものの何が重要か情報共有の大切さがわかりますので今後もよろしく願いいたします。

『朝日地区自治会連合会 服田委員』

私は公私ともに山梨病院にはお世話になっています。小学生の頃からですので70数年間ともに歩んできたと言えます。膀胱がんと咽頭がんをここで見つけてもらって早期発見だったので今ここに居られています。病院が近くにあるということは少し具合が悪くても診てもらおうとなるわけで、病院があることをありがたいと思っています。資料の14番にあるように地域に気を使っただけで講習会をしていただけて感謝します。山梨病院のご協力をいただき地域の健康を守って頂けたらと思います。

『山梨病院 百瀬委員』

いきいきサロンのことは報告を受けています。医師を含め看護師も地域に貢献できないかと言うことで、連携室の中村を窓口にも、健康、感染予防、介護などの情報を発信できたらと思っていますので是非ご活用ください。

『山梨病院 佐藤院長』

様々なご意見をいただきましてありがとうございます。このご意見を病院運営の糧

と致します。これからも忌憚のないご意見を聞かせていただければと思います。ありがとうございました。

4、お知らせ 山梨病院 中村地域医療連携室係長

地域連携協議会は、設置規定により年2回以上の開催と定められており、今回は、来年の2月を予定しております。ご協力をお願いいたします。

5、閉会 山梨病院 石原副院長

沢山のご意見をいただき、ありがとうございました。地域に根付いた医療を提供できればと思っておりますので、今後ご意見などありましたらお知らせいただけたら幸いです。